



レンゲツツジが咲く草原で引き馬トレッキングを楽しむ参加者

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

芝草原で馬と触れ合う

馬と芝とレンゲツツジ祭2019

馬と芝とレンゲツツジ祭2019(安比高原ふるさと倶楽部主催)は6月2日から9日まで、安比高原の中のまきばで開かれ、訪れた人たちは一面に咲いたレンゲツツジの観賞や馬との触れ合いなどを楽しみました。

2日は、新設された「安比高原里山テラスあつてら」の除幕式や、引き馬トレッキングなどが行われました。

昨年も訪れた平館小4年の八重樫歩君は「最初は馬に乗ることが怖かったけど、だんだん自信がついてきて、今日は楽しかった」と笑顔を浮かべていました。



草原が一望できる「安比高原里山テラスあつてら」



圧縮された空き缶を手で触れる児童たち

捨てたごみはどうなるの

社会科見学で清掃センターを訪問

寺田小の4年生7人が6月10日、社会科見学で市清掃センターを訪れ、焼却施設や粗大ごみ処理施設などを見学し、ごみの処理方法などを学びました。

1日に約50tのごみを焼却できる施設であることや、ごみの処理費用が、燃料や薬剤、人件費、設備補修費などで年間約3億円かかることなど、児童の質問に担当職員が丁寧に答えていました。佐々木颯斗君は「実際のごみの多さに驚いた。あまりごみを出さないように気を付けたい」と気を引き締めていました。

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

業務拡大に伴い 正社員募集 勤務地 八幡平市内

正社員 飼養と管理業務

給与/月給 **190,000円**～
勤務/8:00～17:00
休日/シフト制(月8日程度 ※週休2日相当の日数)
資格/要普通免許
待遇/社会保険完備、賞与年2回、昇給年1回、各種手当、作業着支給、通勤手当(上限なし)

●応募/まずはお気軽にお電話ください。 ☎028-7111 八幡平市大更1-238-1
有限会社 コマクサファーム ☎0195-76-4719

ホールスタッフ 募集中! 未経験者歓迎! 女性活躍中!

- 内容/ホールスタッフ(接客、洗い物など)
- 時間/10:30～14:30、17:00～21:30
- 休日/シフト制 ●資格/不問
- 給与/時給**800～850円**
- 待遇/雇用保険、マイカー通勤可、制服貸与

応募▶まずはお気軽にお電話ください。 ☎028-7405 八幡平市平館25-47-6
たかはし食堂 ☎0195-74-2232



魚止めの滝を背にガイドから説明を受ける参加者

大自然に包まれ滝堪能

七滝と魚止めの滝観察会

七滝と魚止めの滝観察会は6月8日、県民の森で開かれ、市内外から参加した27人が2つの滝と県民の森の自然を堪能しました。

魚止めの滝までは徒歩2時間半ほどで、途中で七滝を觀賞。道中では、ガイドから植物や動物の説明があり、参加者は熱心に聞いていました。

初めて参加した伊藤華穂さん(寺田小6年)は「滝も良かったが、それまでの道のりも沢を渡ったりして登山より楽しかった」と汗を拭きました。

八幡平らしいビールを

「暁ブルワリー八幡平醸造所」立地協定

(株)太極舎(東京都渋谷区・岡部いずみ社長)と市の工場立地協定書調印式は6月10日、市役所で行われ、市内初となるクラフトビール醸造所の整備が決定しました。

岡部社長は「山と水にひかれて八幡平を選んだ。水を使うだけでなく、ホップや雑穀などの原材料も市内で生産してみたい」と意欲を示しました。

醸造所は、八幡平トラウトガーデン跡地に整備し、今年度中に操業を開始する予定です。



「暁レッド」で乾杯する岡部社長(左)と田村正彦市長

ジャンプで世界へ飛翔

SKI JUMPキンダー育成プログラム

キンダー育成プログラム(全日本スキー連盟主催)は6月22日、県営スキージャンプ場などで開かれ、東北地区から集まった小中学生ジャンパー約40人が動作や姿勢、トレーニング方法などを学びました。

講師を務めたのは、佐藤幸椰さん、中村直幹さん、勢藤優花さんの日本を代表する3選手。

市内から参加した成田元気君(田山小2年)は「教えてもらったことに気を付けて、夏の大会で10m飛べるように練習したい」と意気込みました。



アプローチでの姿勢を学ぶ成田君と講師の勢藤さん

アユ釣りでにぎわう川に

松川淡水漁業協同組合アユ放流会

松川淡水漁業協同組合(高橋光男組合長)は5月28日、漁場環境の保全と稚魚放流による増殖を目的に、松川橋付近でアユの放流会を開きました。

放流会には、杉の子保育園の園児34人が参加。同漁協組合員指導のもと、園児は「大きくなってね」と声を掛け、アユの行方を見守りながら放流しました。

今回の放流会では、稚魚150匹、約1万5,000匹を放流。同漁協では、ヤマメやイワナの稚魚も順次放流していく計画です。



バケツをゆっくり傾けてアユの稚魚を放流する園児



33kmのロングに出走した328人が一斉スタート

自然に飛び込み健脚競う

第7回七時雨マウンテントレイルフェス

第7回七時雨マウンテントレイルフェスのメインイベント「カルデラトレイル」は6月2日、田代平高原七時雨山荘前を発着点とするコースで開かれました。

北は北海道、南は沖縄県から681人がエントリー。33kmのロング、18kmのミドル、3kmのショート・キッズと家族ペアの各部門に分かれ、新緑の七時雨を駆け回りました。秋田市から父親と家族ペアの部に参加した渡邊伊織君(7歳)は「汗でびしょり。でも、とても気持ちよかったです」と笑みを広げました。

行政相談の労苦たたえる

山本富栄行政相談委員が感謝状を受賞

行政相談委員の山本富栄さんが5月21日、岩手行政監視行政相談センター所長感謝状を受賞しました。

山本委員は平成27年から現在まで、地域住民の身近な相談相手として活躍。行政苦情の解決に尽力された功績が認められ、今回の受賞となりました。山本委員は「身に余る光栄。今後も住民の声を行政に伝えられるように頑張っていきたい」と気持ちを高めました。

相談所は月1回、旧町村ごとに開設。日程など詳しくは広報暮らしの情報カレンダーで確認してください。



安代総合支所に開設した相談所前で感謝状を持つ山本委員

すなっぶギャラリー



「りんどう親善大使」として修学旅行先でリンドウをPRする安代小6年児童(6月20日、松島町)



手入れの行き届いた花を楽しむ参加者(6月21日、あしろhana花フェスタ2019、佐藤テツさん宅庭園)



人権の花運動で、人権擁護委員と花を植え、命の大切さや思いやりを学ぶ園児(6月18日、ひなざく幼稚園)



交流の続くタマサート大と初の取り組みで、15日間の就業体験をする3人の学生(6月14日、八幡平ハイツ)



みんなで県民謡「外山節」などを合奏し盛り上がりしました(5月26日、第13回八幡平ふるさと会の集い)